

【株式会社 マルミ】代表取締役 小山 正二 様

Q 建物の感想をお聞かせください。

新社屋は、私たちの水産会社のビジョンと完全に一致しており、大建設工務の熟練した技術と創造性が結集した結果で、そのデザインと機能性の両面で非常に満足しております。外観は現代的でスタイリッシュなデザインが施されており、全国から訪れる取引先様に強い印象を与えています。特に、ガラスのファサード、独特のバランス形状などが弊社のブランドイメージを象徴する形で表現されていると思っています。オフィスのレイアウトは非常に機能的で使い勝手が良く、オープンプランの事務所内、エントランスは自然光を最大限に活用する設計により、日々の業務がスムーズに行えるようになりました。

さらに、省エネルギー設備、再生可能エネルギーの利用などを取り入れたことで、弊社が目指す持続可能な経営にも貢献しています。

Q 社員さんの評判はいかがですか？

社員一同からは非常に高い評価を受けております。ガラスファサード、自然光を取り入れた開放的な空間によって、働く環境や集中力、効率が大きく向上したと言われます。特に広々としたフリー事務所スペースと自然光が豊富に入ること心地良いという点が高く評価されています。機能性においても、最新のネット環境を導入した会議室、効率的なエネルギー管理システムは生産性向上に直接寄与しており、作業環境に対する満足度をさらに高めています。

Q 弊社スタッフの対応はいかがでしたか？

スタートから完成に至るまで大変お世話になりました。各担当の専門性と心温まる対応に心から感謝申し上げます。初期段階から、未来における水産会社としてのニーズを念入りに聞き取り、有効な提案を迅速に行って頂きました。特に海沿いですので、長年の経験から塩害対応の素材や技術的なアドバイスと創造的な解決策を提供して頂きました。途中での変更や追加工事にも迅速で柔軟な対応があり、何より予算内で収めることができました。

また、最終段階でも丁寧な仕事をしてくれ、気付けられる点多々あり期待を上回る結果をもたらしてくれました。完成後のフォローアップにも、同様の熱心さで対応していただき、大変感謝しております。

設計監理担当者紹介

設計担当

設計担当 岡 佑磨

監理担当 篠原 聡



マルミ様の新事務所と作業場の設計という機会をいただき誠にありがとうございました。

小山社長とは、何度もお打合せの機会をいただき、様々な提案やご要望などを積み重ねていくことで、素晴らしい事務所が出来たと思います。

外観に関しても、複数案出させて頂いた中で、お打ち合わせを重ね、縦のライン中心にスッキリとしたデザインができ、自分としてもすごく満足の行く外観になったと思います。

株式会社 大建設工務

お問合せ・ご相談は
営業部までご連絡ください

089-933-3311 (月~金 8:30~18:00)
daiken@daiken-sekkei.com

大建設工務 公式HP
トップページ



本社 〒790-0862 愛媛県松山市湯渡町5-36

南予事務所 〒798-0050 愛媛県宇和島市堀端町1-45コア追手町308号

高松事務所 〒760-0067 香川県高松市松福町1丁目6-3 ダイアパレスポートアベニュー高松100 101号

DAIKEN ARCHITECTURE & ASSOCIATES

News Letter

Vol. 12

特集

株式会社 マルミ本社・物流加工センター



Concept

機能性とデザインを融合させた
上質なワークスペース

昭和29年創業

株式会社 大建設工務



建築を通して
“まちづくり”に参加する

株式会社大建設工務は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

株式会社 マルミ本社・物流加工センター



発注者：株式会社 マルミ
代表取締役 小山 正二
所在地：八幡浜市向灘
延床面積：1,872.46㎡
構造：鉄骨造2階建て
施工：株式会社 大任建設

今回、ご紹介させて頂く建物は、目の前には宇和海が広がり、背面はミカン畑という、愛媛の良い所を凝縮したような場所に立地する株式会社マルミ様の本社及び物流加工センターです。

マルミ様では、愛媛県内の養殖業者より真鯛や鰯などの養殖魚を仕入れ、自社の加工場で一匹一匹「神経締め」という技法を用いて、魚に余計なストレスを与えない事により、魚が本来持つ旨さを逃がさずに、鮮度を保ったまま、愛媛の旨い魚を日本全国に発送しておられます。

シンボリックなファサード



昼景



夜景



内観



事務室



事務室

搬働しやすい オフィス環境

執務スペースは、様々な働き方に対応できるようにフリーアクセスフロアを採用し、自由な空間構成を可能としました。室内環境については、全熱交換器を採用し、室内と室外の空気を効率よく換気することで、快適な執務空間となっています。会議室は隣室との間を可動間仕切りとすることで、一室として使用することができ、大勢のお客様が訪れた際でも対応が可能となっています。

また、廊下との間仕切りをガラスとし、暗くなりがちな廊下に自然光が届くように計画しました。

リラックスルームは遊び心のある壁の配色と照明により、カフェのような空間としました。食事の時間はもちろん、休憩時間など、従業員様同士のコミュニケーションのお役に立てればと思います。



リラックスルーム

来訪者の目を引くカーテンウォールからは、上階へと続く階段に豊かな自然光が差し込み、目の前に広がる豊かな自然を望むことができます。

夜間は柔らかな光を発する照明を採用し、周囲の景色との調和に配慮しました。